

No. 2  
2005.1.7



amu

自然・人・地域文化を  
編む

【企画・発行】  
『白神の夢』と文化を育む会  
【後援】  
八森町公民館

【あむ 編む】

- 1 糸、竹、針金、髪などを互い違いに組み合わせ、形の有る物を作る『セーターを一』。
- 2 多くの材料を集めて本を作る。編集する。『文章を一』。
- 3 関係各方面の事情を調べて、計画を立てる。『旅行日程を一』。

ライブリポート  
2004.10.23

# 心に染み入る魂のジャズ

## 坂田 明 mii 東北ツアー「赤とんぼ」2004

八森町民

昨年10月23日(土)、弊会は、文化芸術企画第一弾として、『白神の夢』に出演し音楽を担当した坂田明さん率いる「坂田明 mii」のコンサートをお森町文化ホールファガスで開催した。坂田さんにとっては映画撮影以来三年ぶり二度目の来町である。心配されていた台風の襲来は免れたものの急に冷え込み初冬を思わせる一日となったが、ファガスには能代山本地域のみならず秋田市や鹿角市、大館市、仁賀保町など広範囲から380名もの人びとが参集し熱気ムンムンであった。なんとありがたいことに、山下プロデューサーと小池監督夫妻もこの日のためにわざわざ東京から激励を兼ねて見に来てくれた。開演に先立ち、坂田さんのライブアークである「ミジンコ」のビデオ作品「ミジンコの宇宙」を上映する。昨年DVD化されたこの作品の画質は非常に鮮明で美しく、「ミジンコ」の生産や脱皮の場面など学術的にも貴重な映像が収められて

いるが、「ミジンコ」愛は通じないとかがないのが欠陥ではないといった坂田節が随所に散りばめられており、笑いながら賢くなれるお得な一本である。いよいよ開演だ。三人(坂田明、黒田京子、バカボン鈴木)が登場すると、待ちかねていたように大きな声援が飛んだ。ライブ慣れしているお客が何人か来ていると見え、「聴くぞ!」といった気構えが伝わってくる。盛り上がりなかつたらどうしようという不安はいっぺんに吹き飛んだ。殆どの観客は初めて耳にす

### 『白神の夢』撮影地でのツアー初日大盛況 ～フリージャズの醍醐味とミジンコの映像を堪能～

反応していた。凄まじいエネルギーを発散させながらサックス、クラリネットを吹き、厚みのある力強い声で歌い(三曲目)、ゴモフスに合間のトークを繰り出す坂田明。長い黒髪を振り乱し硬軟自在なタッチでピアノを弾き情熱的な即興を披露する黒田京子。その二人の風圧を時に和らげ時に倍加させ、虚無僧の如く佇立し曲調の要となるベースラインを寡黙にはじき出すバカボン鈴木。疾風怒濤の二時間、演奏は「素晴らし」と一語に尽きた。アンコールの声に応え再登場した坂田明は、「これは家に帰りたくなる曲をやります」と笑わせ、名曲「家路」を演奏した。最後までエンターティナーなのであった。

音楽とは勝負(すぐ)れて一回性の表現芸術であり、人生の美と悲哀もまたその一回性に因りて生まれるのである。同じ曲であっても演奏は毎回違つ。2004年10月23日、この日の演奏はこの日限りのものである。しかし感動

るいわゆる「フリージャズ」、八森でどれだけ受けるのか実は心配だったのだが、それは杞憂に過ぎなかつた。圧倒的迫力に溢れた演奏に聴衆は引き込まれ、見事に

## アンケートより

(奈良沙冬子)

の記憶は未来永劫人々の心に生き続けるであろう。

最高でした。本ものの音楽は素晴らしい。たましいの演奏でした。感激でした。(四 十代 男性) とても素敵でシビれました。又機会がありましたら、きつとかけつけた演 奏 曲 と思います。(峰浜村 四十代 女性) はじめて聞くジャズ。生はやはり違う。感動で涙が出ました。素晴らしい演奏に胸が震えました。(八森町・六十代 女性) 坂田さんのトークがおもしろい。ゴトクな曲。圧倒される演奏です。たくさん入場されてよかったですね。分分钟は他の曲と違って変わった感じで、とてもうっとりしました。(能代市 五十代 女性) 東京で仕事をしていた頃は、何度か坂田さんの演奏を聞くことが出来ました。その後はテレビラジオだけでした。久しぶりに出逢えてとても感動致しました。(能代市・六十代以上 男性) 映画によって生まれた新しい文化活動だと思います。地元の人々の努力で色々な文化活動が生まれてほしいと願っています。(八森町 六十代 男性) いいものを聴かせてもらいました。アルトルが入った状態でもききたい

1. 赤とんぼ
2. Tsonbon Tsuraitai Khuren (丸い蹄をもった褐色の馬)
3. Slit of Cloud (八雲たつ～秋の夕暮れ)
4. 行き交う人々
5. ミトコンドリア
6. A good for nothing (役立たず)
7. ハダハタ (記録映画「白神の夢」より)
8. Dance
9. Wann kann ich sie wiedersehen? (皆さん、今度いつお会いできますか?) アンコール 家路

作曲者 1. 山田 耕祐 2. モンゴル民謡  
3. D.I KRUSH. 坂田 明 4~9 坂田 明 ド

坂田さんからの年賀状

### 新年おめでとう、八森！ 坂田 明

八森のコンサートでは300人近い人々に私達の音楽を聴いていただき、有難うございました。そして年も明け、降り積もる雪の中こうして欣喜雀躍、恭賀新年を迎えることになりました。今年も白神山を背に荒ぶる日本海の冬景色を浴びて八森産の“地人間”が地鶏のように生まれることを期待します。ヤッホー！



ミジンコはミジンコをしている。  
皆さん、ちゃんと人間をしていますか？

(八森町 六十代 男性) 何故か心がなごみ、心がなごみました。素晴らしい演奏ありがとうございました。(八森町 六十代以上 男性) 坂田ミコジックを十分楽しませてもらいました。川口小坂町長+グロブや、秋田市からも小生の知り合いの方々がたくさん来場していました。坂田さんの人気はずいぶんです。この小さな町でこんなにたくさん集まって大盛況のコンサート、おめでとうございました。(大館市 五十代 男性)

# 八森のアイヌ語地名を訪ねる

ルーテル学院大学 藤井 英一

地名は土地と人間との関係の中で生まれる。人々の生活と歴史が刻まれた貴重な記録である。昭和七年、金田一京助博士は「北奥地名考」を著し、津軽、秋田、南部にアイヌ語地名が数多く保存されていることを言語学的に明らかにした。アイヌ人は文字をもたない。伝えられた地名は漢字やカナで表記されるとも、日本語化の過程で訛ることもあり、元の発音や意味を探るのは容易ではない。しかし、幸いなことに、アイヌ語地名は、自然物(地形、水、植物、獲物な

## 連載開始 ちいきがく 知・域・楽

「地域学」とは？

近年「地域学」が活況を呈している。これは、その地域に伝わる独自の文化や歴史など様々な観点から地域をまるごと学問的に追究しようとする新たな分野である(東北学、鹿角学などが有名)。本紙も今号より「知・域・楽」を開講し、読者の皆さんと共に楽しみながら地域についての知見を深めていきたいと思う。記念すべき最初のシリーズは今最もホットな関心事である地名考察から始める。

(ど)の存在様式を表したとばが多く、同じ地名がしばしば普通名詞的に使われる。同名のアイヌ語地名を訪ねると、それらの土地に共通した自然が観察され、地名の元の意味が具体的にわかることが多いのである。

八森町に残るアイヌ語らしき地名を訪ね、いにしへの八森人の生活と自然環境を探ることにしよう。アイヌ語地名で最も一般的な語尾のナイは、川とか沢を意味する。先ず、八森の山内(菅江真澄は三内と表記)に出かけた。真瀬川下流の北側は低地になっていて、そこが山内。山田秀三さんという地名の謎によれば、サンナイとは、「増水」(がさぬ出る)・nai(川)という意味である。まさしくここは水かさが増す川で、昭和三十九年八月豪雨では家屋も流された。

山内の対岸は立石で丘になっている。タイシは「たし(種皮)・e(そこ)・usi(沢山あるところ)」という意味か。昔、シラカバかヌカバが繁り、ここで樺皮を採っていたのだろうか。現在は、ケヤキが林立している。立石の隣は、茂浦(真澄は藻浦と表記)である。浜に出ると雄鳥が見える。モウラは、「mosir(鳥)・ura(浦)」が語源であるとの説がある。ura, ota(砂浜)

がuta, uraと訛ったものか。青森市のとなり平内町には、同名の茂浦村があるが、その浜の沖には茂浦島がある。ほんとうに「小島がある砂浜」がモウラなのだろうか。春になったら、訪ねてみたいものである。

## 「白神の夢」 秋田市上映会のお知らせ

県内では初の有料上映会となりますが、市民有志や学生が中心となって上映実行委員会を組織し、広範囲の区域を対象に大変熱心な宣伝活動を行っています。当日は会場ロビーに白神関連の物販コーナーや江川正行さんの写真展示スペースを設けるなど、上映会を盛り上げるため様々な趣向を凝らすといたします。この機会に是非足を運び下さい。

日時 1月15日(土) 1回目 午前11時～午後2時30分 2回目 午後4時～午後7時30分 上映後監督トークあり  
会場 秋田市文化会館小ホール  
入場券 一般¥1,200(前売¥1,000) 学生¥700(前売¥500) 高校生以下無料  
チケット販売先 秋田スーションビル TEL:018-832-2416  
秋田二丁シテイ TEL:018-866-3821  
【主催】白神の夢をひろめる会

身上書 ~其の2~ (会員自己紹介)

### 工藤 兼美 (くどう かねみ)

年齢=いい年してる(おじさん) 職歴=電気屋さん、青少年の家の管理人、ボーリング屋 趣味=野外遊び

(笑)「くされたまぐら」って俺のことかな~。様々な所にはまっていて色々な所に出没する。楽しいことがしたいからそんなことが出来たらいいな、こんな些細な気持ちで始めるんだが、ついついはまってしまふ。大体が、裏方の係を主に受け持っています。好奇心だけは旺盛なおじさんです。最近、なかなか思うように遊べなくなってきたのは、仕事のせいなのか年のせいなのかは定かではないが、欲求不満がたまってきた。何かで爆発したいな。

【お問い合わせ】携帯090 1939 4966-1800-2 2:00)

shirakami\_dream@hotmail.com

### 県内の上映実績

八森町 完成記念上映会(03.11月) 能代市 山本地域振興局(03.12月) 大館市 北秋田地域振興局(03.12月) 秋田県立大学(03.12月) 能代市 予シアムパルク(04.6月) 八森町教育委員会(04.8月) 八森町 町制五十周年記念行事(04.10月) 藤里町青少年健全育成

編集部の意見、ご感想を下記連絡先までご連絡しお寄せ下さい。投稿も受け付けます。400字程度でお願い致します。掲載前にご連絡致しますのでお名前、電話番号を明記して下さい。面白い情報がありましたらお知らせ下さい。取材に伺います。本紙発行費は会員の会費で賄われております。ご寄付は勿論大歓迎であります。が、寄付者様には何のメリットもございません。但し本紙に御芳名を掲載し、敬意と謝意を表させて頂きます。『白神の夢』に関する質問等何なりとお尋ね下さい。

町民会議(04.11月)

寄付者 御芳名

谷内 成治様(能代市)

匿名 希望様(能代市)

田中 重恵様(秋田市)

ありがとうございました!!

## 編集後記

一年の早さに驚き呆れていた年末に、タモリが某トーク番組で、「それは年とともに能力が落ちていくために、時間だけが早く過ぎていくように感じるせいであるらしい」と語るのを聞き、愕然としてしまった。認めたくないが、やはりそういうことなのか。というわけで第2号発行がこんなに遅くなってしまった。あゝ。

奈良 沙冬子

『白神の夢』と文化を育む会  
連絡先 〒018-2641 秋田県山本郡八森町字中浜 51-3  
☎ (FAX 兼) 0185-77-2221  
奈良 沙冬子 ✉ satoko-n@shirakami.or.jp